



JFE スチール 株式会社

冷延鋼板

Cold-Rolled Steel Sheets and Coils



算定単位

1 t

算定対象段階

- 最終財 中間財
生産段階 (原材料の調達・輸送、製品の製造)
及び間接影響

製品の型式、主要仕様・諸元

- 製造サイト:
西日本製鉄所、東日本製鉄所
- 主な規格:
JIS (日本産業規格)
JFE規格等
⑧備考欄に、詳細を記載
- 形状: コイル、シート
寸法: 厚さ0.2~3.2mm

登録番号	JR-AW-24062E
適用PCR番号	PA-180000-AW-05
PCR名	鉄鋼製品 (建設用を除く) (中間財)
公開日	2025年3月28日
検証合格日	2025年3月12日
検証方式	個品別検証方式
検証番号	JV-AW-24062
検証有効期間	2030年3月11日

PCRレビューの実施

認定日等	2023年 5月 10日
委員長	松野 泰也 千葉大学

第三者検証者*

外部検証員 阿藤 崇浩

ISO14025に従った本宣言及びデータの独立した検証

内部 外部

*システム認証を受けた事業者内の検証の場合は、システム認証を行った審査員の名前を記載。

問い合わせ先

JFEスチール株式会社 自動車鋼板セクター部

https://www.jfe-steel.co.jp TEL: 03-3597-3111

登録番号: JR-AW-24062E

①ライフサイクル影響評価結果

影響領域	生産+間接影響※1	生産のみ※2	単位
気候変動 IPCC 2013 GWP 100a	2.1E+03	3.1E+03	kg-CO ₂ eq
酸性化	-8.9E-01	7.2E-01	kg-SO ₂ eq
富栄養化	2.8E-02	4.8E-02	kg-PO ₄ ³⁻ eq

※1: 【A1~A3】 + 【D】 ※2: 【A1~A3】

内訳 項目	単位	合計	【A1】【A2】	【A3】	【D】
			原材料の調達・輸送	製品の製造	間接影響
気候変動 IPCC 2013 GWP 100a	kg-CO ₂ eq	3.1E+03	7.7E+02	2.4E+03	-1.0E+03
オゾン層破壊	kg-CFC-11eq	9.8E-05	9.7E-05	2.3E-07	-1.9E-07
酸性化	kg-SO ₂ eq	7.2E-01	4.2E-01	3.0E-01	-1.6E+00
光化学オキシダント	kg-C ₂ H ₄ eq	9.2E-03	7.4E-03	1.8E-03	-2.3E-01
富栄養化	kg-PO ₄ ³⁻ eq	4.8E-02	1.2E-05	4.8E-02	-1.9E-02

②ライフサイクルインベントリ分析関連情報

項目	単位
非再生可能資源	1.4E+03 kg
非再生可能エネルギー	3.6E+04 MJ
再生可能資源	1.1E+03 kg
再生可能エネルギー	1.2E+02 MJ
淡水の消費	5.8E+00 m ³

③材料及び物質に関する構成成分

材料・物質 (使用部分)	単位
鉄[Fe]	≧91.8 wt%
炭素[C]	≦1.0 wt%
ケイ素[Si]	≦3.0 wt%
マンガン[Mn]	≦4.0 wt%
リン[P]	≦0.100 wt%
硫黄[S]	≦0.050 wt%

④廃棄物関連情報

項目	単位
有害廃棄物	0.0E+00 kg
無害廃棄物	2.0E+00 kg

※ライフサイクルにおける廃棄物量を示しています。

⑤算定結果に関する追加情報

- ・本EPDはシステム拡張を適用せずに算定した結果である。
- ・間接影響として、JISQ20915に基づく鉄鋼材料のリサイクル効果を評価し、上表の【D】にその値を記載した。間接影響分は上記の表【A1】、【A2】、【A3】の合計値に加算される。
- ・計算に使用したリサイクル率は93% (計算はJISQ20915に従い、2018年度の国内データ (出典: 日本鉄鋼連盟、鉄源協会、スチール缶リサイクル協会) を使用)
- ・自家発電電力の環境影響は燃料の一次データで算定し、系統電力は、「電力、一般事業者10社平均、2014年度」の原単位を利用した
- ・③材料及び物質に関する構成成分について、鉄以外は対象となる鋼材規格の各上限値のうち最大のものを示す。
- ・1次データは2021年度のデータを使用した。

⑥-1.その他の環境関連情報

ISO14001認定工場で製造している。

⑥-2.有害物質に関する情報

項目	CAS No.	法令等
マンガン [Mn]	7349-96-5	労働安全衛生法
銅 [Cu]	7440-50-8	労働安全衛生法
ニッケル [Ni]	7440-02-0	労働安全衛生法
クロム [Cr]	7440-47-3	労働安全衛生法
モリブデン [Mo]	7439-98-7	労働安全衛生法

⑦使用した二次データの考え方

IDEA v2.1.3 を使用した。また、スクラップ原単位 (スクラップLCI) は原単位登録番号：JP-AJ-0001を使用した。

⑧備考

対象とする主な規格を以下に示す。

JIS規格：G 3141, G 3135 他

JFE規格：

◆軟質冷延鋼板(JFE-C)

一般加工用(例 JFE-CC)

絞り用(例 JFE-CD)

深絞り用(例 JFE-CE, JFE-CF)

超深絞り用(例 JFE-CG)

焼付硬化性(例 JFE-CHE) 他

◆高張力鋼板(JFE-CA)

一般加工用(例 JFE-CA340, JFE-CA980, JFE-CA1470)

絞り用(例 JFE-CA340F)

深絞り用(例 JFE-CA340P)

超深絞り用(例 JFE-CA340G)

焼付硬化性深絞り用(例 JFE-CA340H)

低降伏比型(例 JFE-CA590Y1, JFE-CA980Y1, JFE-CA1180Y1)

高延性型(JFE-CA590A) 他

日本鉄鋼連盟規格：JFS A 2001 他

これらをベースに需要家との協議で決定するものもある。

●データ算定の方法は、PCRおよび算定・宣言規程を参照してください。

●比較については、算定・宣言規程に規定された条件を満たした場合にしか認められません。

(参照先URL：<https://ecoleaf-label.jp/regulation/>)